

海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

2025.

11

静岡県企画部地域外交課



ベトナムの旅行会社を対象としたファムトリップを開催

東南アジア

TikTok ライブコマースでシンガポール市場向け「静岡フェア 2025」を開催！

ベトナムの旅行会社、航空会社を対象に「静岡ファムトリップ」を開催！

中国

知事が世界都市自治体連合（UCLG）世界評議会に参加

青島市で「青島航空・県内企業と合同での静岡県プロモーション」を展開

韓国

7連休の最終日「ハングルの日」と世宗特別自治市

20周年を迎えた「日韓交流おまつり」に静岡県ブースを出展

台湾

「ふじのくにマエストロシェフ」と連携 本県産の食材をPR

台中の養豚場でアフリカ豚感染確認 台湾では初

東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

社会・時事

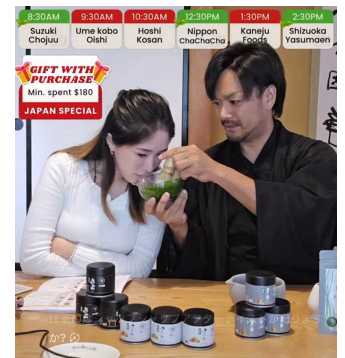
TikTok ライブコマースでシンガポール市場向け「静岡フェア 2025」を開催！

10月下旬、県産品の輸出拡大を目的に、シンガポール市場向けのオンラインイベント「静岡フェア 2025」を開催した。TikTok を活用したライブコマース形式で、シンガポール人インフルエンサー4名が登場し、視聴者とリアルタイムでやり取りしながら県産品を紹介・販売した。

今回、28事業者が県産品を使った自社商品を提案してフェアに参加。静岡茶（煎茶、ほうじ茶、抹茶等）、桜えび、鰹節、ツナバーなど、多彩な商品がラインナップされた。視聴者はチャットで質問ができ、インフルエンサーや事業者がその場で回答する形式は、テレビ通販の臨場感とSNSの双方向性を融合させた新しい体験となった。

シンガポールではライブコマースが人気だが、実際にライブ配信が始まると、その反響の大きさに驚かされた。結果として、フェア全体で日本円にして約500万円の売り上げを記録。特に栄養価の高いヘルシーな商品が人気を集め、シンガポール市場での注目度の高さを示した。

初めての試みながら、インフルエンサーによるライブコマースが海外への販路拡大に有効であること、県産品の魅力を広める新たな手段として期待できることが確認できた。今回の経験と反省点を踏まえ、ライブコマースの活用を、シンガポール市場での県産品のプレゼンスを高めるための方法の一つとして検討していきたい。



経済

ベトナムの旅行会社、航空会社を対象に「静岡ファムトリップ」を開催！

10月21日から23日にかけて、浜松市と共同で、ベトナムの旅行会社、航空会社計10社を招き、県内の魅力を紹介するファムトリップを開催した。初日と2日目は曇りや雨となったが、3日目は快晴となり、富士山の初冠雪にも恵まれた。

アンケートでは、富士山世界遺産センターや伊豆パノラマパークから望む富士山の景観が高く評価された。これまで山梨側を中心に富士山観光の行程を組んでいた旅行会社からは、「今後は富士山世界遺産センターや伊豆パノラマパークを組み込みたい」との意見も寄せられた。また、ふじのくに茶の都ミュージアムでの茶道体験や、浜松フラワーパークでの花々と景観を楽しむ撮影体験など、体験型や写真映えするスポットも好評を博した。

今回の3日間の行程を通じ、ベトナム人旅行者にとっては、SNS映えするスポットや気軽に楽しめる体験が特に魅力的であり、長時間の徒歩移動はあまり好まれないなど、市場の特徴を実感することができた。

参加旅行会社からは、静岡の観光スポットを今後のツアー行程に組み込みたいとの意向も示されており、引き続きフォローアップを行うとともに、今回のファムトリップで得られた知見を生かし、ベトナム市場への効果的なプロモーションにつなげていく。



中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

行 政

知事が世界都市自治体連合（UCLG）世界評議会に参加

10月16～18日、知事を団長とする本県訪問団が世界都市自治体連合（UCLG）世界評議会に参加するため、陝西省・西安市を訪問した。

UCLGは、2004年5月に設立された世界最大の地方自治体連合組織で、140以上の国・地域から1,000以上の都市が加盟している。本県は本年6月に日本の都道府県として初めて同連合に加盟。知事は、UCLG幹部や世界各国・地域の参加者に対して「世界的な潮流となっているウェルビーイングこそが、本県が日本や世界に貢献する鍵となるという強い思いを持って、県政運営に当たっている。UCLGや加盟自治体が持つ知見や取組を学び、本県施策の充実につなげていきたい。」とのスピーチを行った。

本県が属するアジア太平洋支部からは、日本の都道府県としての初の加盟に歓迎の意が示されるとともに、日本での活動の環が広がるよう、取組に期待するとの声が寄せられた。



経 済

青島市で「青島航空・県内企業と合同での静岡県プロモーション」を展開

10月25～26日、県上海事務所は山東省・青島市で開催された日本観光・物産イベント「青島ジャパンフェア」に出展した。7月17日から静岡線が就航し、人的・経済的な交流拡大が期待される青島。今回は、静岡の観光プロモーションと合わせて現地でペットフードの生産・販売を行う青島稲進食品有限公司（いなば食品：静岡市）と連携し、現地での認知度向上に向けたプロモーションを行った。景気低迷が指摘される中国だが、2024年度の犬猫向けのペットフード市場規模は1.8兆円とされ、この5年余りは毎年10%近い市場拡大が続く有望市場だ。

また開催前日の24日には、山東省の旅行社8社と日本自治体6自治体の商談会に参加され、本県は青島航空と共同で参加。関西国際空港やセントレアと富士山静岡空港を組み合わせた6～8日間のモデルコースを紹介した。同商談会では、青島航空の座席購入を希望する旅行社も見つかるなど、上海事務所では、現地だからこそできる人脈を活かしてセールスに取り組んでいる。



いなば食品との共同ブース出展



青島航空との共同旅行社セールス

韓国駐在員報告

駐在員：石ヶ谷 彰英

社 会

7連休の最終日「ハングルの日」と世宗特別自治市

去る10月3日から9日までの間、韓国では多くの会社や役所等が7連休となった。毎年固定の休日に、年により変動する休日がかくうまく挟まれたからである。

連休初日の10月3日（金）は「開天節（ケチョンチョル）」という朝鮮民族の始祖「檀君」の建国神話に基づく休日である。土日を挟み翌6日（月）が旧暦の8月15日に当たる「秋夕（チュソク）」（日本の「十五夜」）となり、この秋夕の日を中心に前後含め3日間が休日になる。

この秋夕の日が毎年変動するのだが、今年は10月5～7日が秋夕休みにあたった。しかし、5日は日曜日であるため、8日（水）が振替休日となり、ここまでで6連休。そして連休最後の7日目が、10月9日「ハングルの日」である。

朝鮮半島の固有文字であるハングルは、1443年に朝鮮王朝第4代王の世宗（セジョン）大王が創り1446年10月9日に「訓民正音」として公布した。韓国政府はこれを記念し1945年に10月9日をハングルの日と定め、後に休日とした。この日は各地で記念行事が行われ、世宗大王の名を冠する世宗特別自治市（以下、「世宗市」という。）でもハングルの国際的な普及に貢献した人たちへの表彰などが行われた。

世宗市は首都機能移転構想のもと、2012年に誕生した自治体であり、ソウル南東約120kmに建設された。人口は約40万人で、既に中央省庁の約3分の2が移転しているが、李在明（イジェミョン）大統領は、大統領府や国会議事堂も世宗市に移転させることを選挙公約としており、今後ますますの発展が期待できるため、首都機能移転や新都市建設に関心がある方にはお薦めの訪問先である。

経 済

20周年を迎えた「日韓交流おまつり」に静岡県ブースを出展

2005年に初めて開催され、今年20周年を迎えた「日韓交流おまつり」が、10月12日、ソウルのCOEX展示場で開催され、今年も本県のPRブースを出展した。日韓国交正常化60周年という節目の年ということで、いつもに増して友好的なムードで行われ、会場では昨年が続いて「一般社団法人美しい伊豆創造センター」の方々に御協力いただいた。

富士山の画像を背景に富士山の着ぐるみや帽子をかぶって撮影できるフォトゾーンが非常に人気を集め、多くの来場者が楽しそうにポーズを決めて写真を撮ってくれた。また、本県の観光情報を韓国語で提供しているブログやインスタグラムのフォローキャンペーンを実施したところ大好評で、昼頃には準備していた記念品を早々と配り終えてしまった。

日本に関心のある様々な年代層の多くの方々に本県の魅力をより深く知って頂く最良の機会であったが、両国の相互理解や友好親善に多少でも貢献できたとすれば幸いである。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

「ふじのくにマエストロシェフ」と連携 本県産の食材をPR

10月27日、台北市にあるABCクッキング内で、公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所（大使館に相当、以下「日台交流協会」）が主催するイベントが開催された。イベントのテーマは「日本産食材を活用したメニューの提案」。外食店への販路を有する卸売業者や、外食店の仕入担当者・シェフなど約20名に向けて日本産食材の新たな魅力や使用方法をPRすることで、日本産食材の販路拡大を目指すものである。同イベントは全国の自治体を対象として募集し、6自治体を選定予定とのことだったため、弊所では台湾に事務所がある強みを活かし、日台交流協会や関係者と密に連絡を取り、関係者のニーズをヒアリングして食材を決定した。その結果、本県産食材である「椎茸」を同イベントでPRできることになった。

弊所では今年8月に台湾市内のホテルで行われたイベントに登壇した際に、「ふじのくにマエストロシェフ」の一木敏哉氏と関係構築ができたため、日台交流協会に対して、「日本産食材の新たな魅力や使用方法の解説は、プロのシェフである一木氏にお願いしてはどうか」との提案を行った。日台交流協会からも、是非一木氏にお願いしたいとの返答があったため、イベントではオンラインで一木氏に登壇いただき、食材の魅力を解説いただいた。一木氏が日本産食材について、「①食材の特徴、②日本料理ならどのような使い方がおすすめか、③台湾料理にアレンジするならどのような使い方がおすすめか」などを多角的な視点から解説してくれたおかげで、参加者の満足度は非常に高かったようだ。

台湾には、9,000軒を超える日本食レストランがあるといわれている。「日本風料理」を提供しているレストランを合わせると、その数は数えきれないほどになるだろう。今後も台湾のレストランに対して、本県産食材を積極的にPRしていきたい。



【イベントで食材の魅力を解説する一木氏】

社会・時事

台中の養豚場でアフリカ豚感染確認 台湾では初

10月22日、台中市の養豚場で死亡した豚が「アフリカ豚熱」に感染していることが確認された。世界82か国で感染が報告される中、これまで東アジアでは台湾と日本だけが非感染地域を維持していたが、台湾で初の感染例となってしまった。感染ルートが不明であることから、政府は台湾域内での豚の移動や食肉処理を禁止した。これによって伝統的な市場が休業したり、一部のレストランで豚肉料理の提供が取りやめられたりしている。

また、水際対策の強化も発表されている。政府は10月30日、肉製品の持ち込みに関する検査を、台湾へ入境する全員を対象に実施することを明らかにした。水際対策を強化することで、家畜伝染病の侵入を防ぐためとしている。

豚は台湾人が大好きな食材のひとつ。日本人観光客におなじみの滷肉飯（ルーローハン）も豚肉料理だ。これ以上被害が拡大しないことを願いたい。

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課

住所：静岡市葵区追手町 9-6

電話：054-221-2572 F A X：054-221-2542

E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp